

中学校 2 年 歴史的分野

1 単元 「近世の日本」

2 単元の目標

- (1) 織田・豊臣による統一事業や江戸時代の政治・社会・文化，地域の身近な歴史に関心をもち，統一事業の過程と幕藩体制の移り変わりの様子を意欲的に調べたりまとめたりしようとする。
- (2) 織田・豊臣による統一事業や江戸幕府の成立と発展を通して，政治や社会の特色について考えることができる。
- (3) 近世社会の成立とその後の政治・社会・文化に関する様々な資料を収集し，適切に選択して活用するとともに，統一事業や江戸幕府の政治を追究し考察した結果を，まとめたり発表したりすることができる。
- (4) 織田・豊臣による統一事業と江戸幕府の政治や社会の変動，文化について，その当時の対外関係を背景にして理解することができる。

3 評価規準及び方法

社会的事象への関心・意欲・態度	信長・秀吉・家康の功績に関心をもち，時代がどのように変わっていったかを調べようとしている。 〔観察，発表〕
社会的な思考・判断	ヨーロッパ人の来航の影響や江戸幕府の政治の特色について，政治・社会・対外政策を基に考えている。 〔ノート・レポート〕
資料活用の技能・表現	身近な地域に関心をもち，産業や交通の発達について，意欲的に調べたりまとめたりしている。 信長・秀吉の統一の過程を調べ，調べたことを基に意見書にまとめている。 〔ノート，レポート〕
社会的事象についての知識・理解	統一事業によって政治や社会が変化し，武士が支配する社会の仕組みが整えられたことを理解している。 鎖国政策と琉球や蝦夷地の支配を通して，鎖国下における対外関係やねらいについて理解している。 〔発表，ノート〕

4 指導計画（13時間完了）

時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項
1	近世の日本の様子を概観し，単元の学習問題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">信長・秀吉・家康は，政治や人々の生活をどのように変えたのだろう。</div>	・戦国時代から江戸時代中期まで，年表を用いて概観させる。
2	学習問題に対して予想し，問題解決のための見通しをもち，学習計画を立てる。	・学習問題に対して，自分なりの予想をさせる。
3 、 6	鉄砲やキリスト教伝来について話し合い，信長・秀吉の統一事業の過程を調べる。 ○信長・秀吉の統一事業について ○「意見書」の作成	・信長や秀吉の政策を調べ，それに対する意見を農民や町人の立場で「意見書」にまとめさせる。

7 ・ 9	<p>家康の業績について話し合い，鎖国のねらいや江戸時代の庶民の生活について調べる。</p> <p>○鎖国政策のねらいと対外関係について</p> <p>○村や町の様子と身分制度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球支配や蝦夷地支配についても取り上げる。 ・鎖国後も，長崎でオランダ・中国との貿易は継続され，幕府が貿易の利益を独占したことに気付かせる。 ・身分制が幕府の支配体制維持のために都合よく作られていたことに気付かせる。
10 ・ 11	<p>産業や交通の発達と都市の形成の様子について，身近な地域の歴史を中心に調べる。</p> <p>○身近な地域における産業の発達について</p> <p>○産業と海運の発達について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の歴史を調べる際に愛知エースネットコンテンツを活用する。 ・身近なところに近世から続く産業があることに気付かせる。 ・エースネットコンテンツの例（知多） 常滑の酒造り 半田の酢 廻船問屋瀧田家 常滑焼
12	<p>幕府政治の改革と農村の変化，江戸時代の文化の特色について調べる。</p> <p>○百姓一揆が増加した理由について</p> <p>○新しい学問や思想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・凶作や飢饉ばかりではなく，自由な生産による豊かな暮らしを求めて百姓が一揆や訴えを行ったことを理解させる。
13	<p>江戸幕府が260年間続いてきた理由を，政治・社会・対外政策を基に考え，レポートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幕府の政治の仕組みや鎖国など，学習した内容や資料を基に，多面的・多角的に考察させる。